

馬宮中生 学習方法アドバイス 数学科編

中学校では、小学校で学習した「算数」から「数学」へと変わります。その変化に対応できずに、つまり生徒が多いです。小学校の算数では、具体的な数字や物を使って考える計算力を養います。一方で、中学校の数学では、 a, b, x, y といった「文字」を使い、論理的にプロセスを考えます。この変化に対応することで、中学生になってからも「数学」に対して苦手意識を持つことなく、学習に励むことができるようになるでしょう。以下のことを数学の勉強に対する基本的なことをアドバイスとしてみなさんに授けます。

1. 日々の授業を大事にする

数学の授業は、前に学習した内容を活用し、新しい内容を学習します。中1の内容は、小学校の計算などの内容の延長に、中3の内容は中2までの内容を活用したものです。ですから、既習事項が身につけている人は、新しい内容に入ったときもスムーズに学習を進めていくことができます。復習を大切に、その日に学んだことを理解できるようにしていきましょう。分からない内容があると、授業についていけなくなる可能性があります。復習をこまめに、継続して行いましょう。

2. 解き方を理解する

数学は、解き方や考え方を理解して覚える教科です。教科書をよく読んだり、授業のノートやプリントの内容を確認したりしながら、解き方を押さえましょう。解き方のよく分からない問題は、ワークの解答・解説をよく読んだり、友達や先生に聞いたりしましょう。また、図形の面積の公式など、いくつかの公式を覚える必要があります。確実に覚えるようにしましょう。また、公式を覚えた上でその公式をどのように使って解くのか、解き方も確認しましょう。

3. 基本問題を繰り返し行う

数学では、学校の授業では理解していても、後で問題を解いてみると「できない」ということがあります。解き方を理解した上で問題を解けるようになるためには、基本問題を繰り返し行うことが大切です。「わかる」が「できる」になるまで基本問題を繰り返し行い、確実に定着させましょう。そのためには、家庭学習も大切です。問題演習量を確保するために、家庭で学習する習慣を身に付けていきましょう。基本問題を定着させることで、応用問題にも対応できるようになります。1日10分、1日5問、そういった小さな積み重ねが、後々大きな差となります。数学は積み重ねの教科です。日々の積み重ね、繰り返しを大切にしましょう。

4. 人に説明する

学力をより定着させるためには、人に説明できるレベルまで完全に理解することが重要となります。2年生以降では、「証明」という学習内容が登場します。なぜそうなるのかを論理的にかつ順序立てて説明できるようになることが大切です。授業の中でも、自分が出来ればOKではなく、周りの人に教え合い理解してもらうこと、自分の考え方や解き方を伝えることを大切にしてください。

以上、馬宮中生に向けてアドバイスをしました。このアドバイスを自分のために役立ててください。